

Droplet Digital PCR オンラインセミナー

- バイオラッドが提供するアプリケーション紹介 -



近年 先端領域の研究を進める上で、解決が難しい様々な課題に直面する機会が増えるとともに、高感度、高精度、かつ再現性の高いデータの得られる優れた検出技術が求められています。バイオラッド独自のセルアナライザ測定方式のQX200 Droplet Digital PCRシステムは多くの研究領域に於いて8000報を超える論文実績があります。

本セミナーでは、基礎的な測定原理からqPCRとの違い、デジタルPCR間の違いの説明を行うとともに、新製品QX600 ddPCRシステムと基礎研究から最先端の応用・創薬・臨床研究分野にわたる幅広いアプリケーション例について紹介していただきます。初心者はもちろん、デジタルPCRに興味はあるけれど、なかなか一歩目が踏み出せない方、現在のご研究で問題対応や改善が求められている方、in Vivoや臨床サンプルを用いた最先端研究でのご活用予定の研究者の皆様まで幅広くご参加をお待ちしております。

日時：2024年8月6日（火）

デジタルPCR比較検討＜第4弾＞

様式：ハイブリッド：Webセミナー（Zoom）

オンサイト会場 信濃町キャンパス 総合医科学研究棟 5階会議室

演者：廣中 克典（バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社アプリケーション担当）

■ Droplet Digital PCR基礎セミナー 15:00～16:00

- 1, 基本的な原理とリアルタイムPCRとの違い
- 2, 論文実績
- 3, 基礎研究利用から応用研究（がん研究、感染症研究、再生研究など）まで
- 4, 臨床応用研究関連（難治性希少疾患, モザイク解析, 産婦人科小児科関連など）
- 5, 革新技术開発での利用

他、新製品QX600（6色検出モデル）のご案内など

■ 質疑応答ほか無料実験相談会 16:00～16:30（オンサイト会場 5階会議室のみ）

※当日のご希望者の先着順で対応いたします。時間がない方はお申し出頂ければ後日、改めて個別にご相談の時間をお取りしますので当日お申し付けください。

■本セミナーの質疑応答、個別の実験相談をお受けいたします。

★現在QPCRで実施してるがデジタルPCRのほうが望ましいか

★これからデジタルPCRを使用してみたいが何を用意すればいいかわからない
などなど、小さなことでもなんでも結構です。

下記のURLもしくは右記QRコードから
申し込みフォームにアクセスしてください。

<https://forms.gle/YSJ4k49B2b3v9vb46>

申し込み締め切り 2024/8/5（月）17:00

フォームで申し込みの方にセミナーIDをお知らせします。

- ・ 電話での受け付けはしていません。
- ・ 当日参加できない方はオンデマンド（期間限定）のご連絡をしますので、希望者は参加希望項目の「後日閲覧希望」を選択してください。
- ・ 記入内容は協力企業と情報共有させていただきます。
- ・ 協力企業からの連絡のみを希望される場合もフォームからご連絡ください。

お問い合わせ先

メーカー：バイオ・ラッドラボラトリーズ株式会社 渡邊 康一

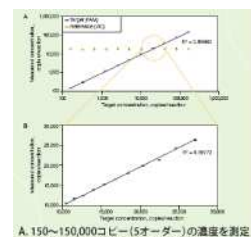
TEL：03-6361-7000（代表） FAX:03-5463-8480

E-mail: koichi_watanabe@bio-rad.com

学内：共同利用研究室 中央機器管理部門 担当：藤原・鈴木（玲）

E-mail: chuokiki-office-group@keio.jp

<https://sites.google.com/keio.jp/corr-cf/home>



Absolute Quantification	High Precision	High Sensitivity	High Throughput
絶対定量	高精度	高感度	高処理性

<https://forms.gle/Y>



SJ4k49B2b3v9vb46



有志の大学共同利用施設がゆるやかに連携して活動しています。学部・大学・機関の壁を越えてふるってご参加ください。